

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

第72回入学式を挙りました



4月11日（水）に第72回入学式を、たくさんの来賓の皆様に見守られながら挙りました。153名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2万人を超す卒業生が築いてこられた合唱や挨拶などの西中学校の素晴らしい伝統を受け継ぐとともに、新たな伝統を作り上げてください。期待しています。

～ 式辞からの抜粋 ～

新一年生の皆さんがこれから三年間にわたる中学校生活を送るにあたり、本校の四つの「めざす生徒像」についてお話しします。

一つ目は、進んで学習に励む生徒になって欲しいということです。

中学校では、人から言われてから勉強するのではなく、分からないところはどんどん先生に質問したり、本やコンピュータを使って調べたりするような積極的な態度が必要です。また、授業中に進んで意見を言ったり、みんなの意見をまとめて発表したりすることも大切になってきます。これからは、「何を知っているか」だけでなく、その知識を使って「何ができるか」「どのように問題を解決するか」までを学力と見なされるようになります。知識を自分で考えて使いこなせる、あるいは他の人と協力しながら問題を解決できる力を身につけてほしいと思います。

二つ目は、授業や行事、部活動などに全力で取り組む生徒になってほしいということです。

よく、「何もしないでも一日 何かしても一日」と言われますが、のんびりだらりと毎日を送れば時間だけが過ぎ、思い出として残るものは何もないです。同じ中学校生活を送るなら全力で取り組んでほしいと思います。全力で取り組んだ時には、充実感や満足感、そして感動があります。仲

間との連帯感や仲間への感謝の気持ちが自然と生まれてきます。

三つ目は、自分を大切にできる心と他の人への思いやりの心を持つ生徒になってほしいということです。

まずは、自分を尊敬し、大切にしてください。そうすると悪いことはできなくなるし、人間として軽蔑されるようなこともなくなります。そういうふう生き方が変わると、理想に近い自分、他の人も見習いたくなるような人間になっていくことができます。また、他人を攻撃する言葉ばかりを口にするのではなく、感謝する心や思いやりのある心を持ち、「有り難う」「ご苦労様」「ごめんなさい」などと、周りの人と温かい言葉で心を通わすことができる人になってください。入学当初は、友だちができるか不安に思っている人もたくさんいると思いますが、「笑顔」と「明るさ」を大切にしてください。友だちを作ってください。

最後四つ目は、生活の基本として、「時間を守ること」「誰とでもさわやかに挨拶ができること」「人の話をしっかりと聞けること」「服装を正し、規律を正すこと」など、基本的な生活習慣をきちんと身につけた生徒になって欲しいということです。

中学生になったということは、大人への第一歩を踏み出したということです。卒業後はよき社会人となり、世の中に貢献できる人となるための基礎を学ぶということでもあります。生活の基本だけはしっかりと身につけて欲しいと思っています。

以上

素晴らしい中学校生活になりますように。少しでも不安がなくなるように先生も先輩も新入生の皆さんをサポートします。安心してください。

